

2020年3月6日

2020年度日本家族社会学会大会ニュース No.1

編集・発行：日本家族社会学会研究活動委員会
委員長 嶋崎尚子（早稲田大学文学学術院）

Email nshim@waseda.jp

日本家族社会学会第30回大会の概要と報告募集のご案内

今年度の大会ニュース No.1 をお届けします。日本家族社会学会第30回大会は、本年9月12日（土）・13日（日）の両日、東北大学川内キャンパス（大会実行委員長：田中重人会員）において開催されます。このニュースでは、大会の基本的な構成と、自由報告・ポスターセッションならびにテーマセッション・特別セッションの応募と締切のスケジュールをお知らせします。

セッションの企画に応募された方ならびに自由報告を申し込まれた方との連絡は、研究活動委員会が個別に行います。大会についての会員全員へのお知らせは、今後、学会ホームページやメールマガジン、「大会ニュース No.2」で行います。

1. 大会の構成

- 現時点では、以下の構成を予定していますが、応募数などによって変更する可能性があります。

プログラムは7月発行予定の大会ニュース2号でご確認ください。

第1日目 9月12日（土）

- 10:00-16:30 ポスターセッション（掲示）
- 10:00-12:30 自由報告(1) テーマセッション 国際セッション
- 12:30-14:00 昼食・委員会
- 12:45-13:45 ポスターセッション(質疑応答時間)
- 14:00-16:30 自由報告(2) テーマセッション
- 16:45-17:45 総会
- 18:00-20:00 懇親会

第2日目 9月13日（日）

- 9:30-11:00 自由報告(3) テーマセッション
- 11:15-12:45 自由報告(4) テーマセッション 国際セッション
- 12:45-14:00 昼食・委員会
- 14:00-16:30 公開シンポジウム

- 別途、別刷交換コーナー、書籍販売コーナー、大会報告レジュメコーナーを設けます。
- 最寄り駅から大学までの交通などについては、大会ニュース No.2 でご案内します。

2. 大会シンポジウム「〈家族の多様化〉と〈子どもの福祉〉は両立するか？(仮)」

10期初年度の大会シンポジウムは「多様な家族」における「子どもの福祉」に焦点をあてた企画です。「多様な家族」（≡非近代家族）が抱える制度上・社会経済上の不利や（セルフ）スティグマの課題については量的／質的研究から指摘されてきました。そして特に「多様な家族」に巻き込まれる子どもの「福祉」「権利」がひとつの論点となってきました。しかし、「子ども」をめぐる論点は理論的・実践的に十分検討されていない状況です。そこで、議論を一步先に進めるために、他分野のパネリストと討論者に登壇いただきます。

パネリストとして、「子ども」に関する諸現象を「子ども社会学」という視点から分析している元森絵里子氏、生殖補助医療をジェンダー論と生命倫理学の視点から分析している柳原良江氏、ステップファミリー、里親養育、親族養育など「中途養育者」を支援する活動をしている町田彰秀氏に登壇いただきます。討論者の松本伊智朗氏には「子どもの貧困」調査から得られた知見などを踏まえて、教育学・社会福祉学の視点から議論を深めていただきます。これらの議論を通じて、「家族の多様化」と「子どもの福祉」についての理論的・実践的な議論を前進させる場をつくりたいと思います。

パネリスト：元森 絵里子氏（明治学院大学）

柳原 良江氏（東京電機大学）

町田 彰秀氏（中途養育者サポートネット）

討論者：松本 伊智朗氏（北海道大学）

企画：野辺 陽子（大妻女子大学）

3. ポスターセッションについて

今大会でも、ポスターによる自由報告を公募します。定められたサイズのポスターのなかに、研究成果を分かりやすく提示していただきます。質疑応答の時間には、さまざまな研究者と交流することもできます。ふるってご応募ください。英語での報告も可能です。

4. テーマセッション・国際セッション・ラウンドテーブル・書評セッションについて

さまざまな企画が可能です。昨年度は、【テーマセッション】「第4回全国家族調査（NFRJ18）—特徴と現状」、【国際セッション】「ひとり親家族支援の日韓比較」、「アジア諸国における少子化—教育との関係に注目して」、【ラウンドテーブル】「英語での論文刊行を目指す研究者のためのワークショップ」が企画されました。

今年も積極的にご提案ください。企画全体や一部の報告を英語で行うことも可能です。

(1) テーマセッション

報告者公募型のテーマセッションは、第30回大会より廃止し、テーマセッションは「企画全体提案型」のみとなります。一定のテーマに基づいて関連発表を組織し、司会者、報告者、ならびに討論者の有無を事前に企画した上で提案してください。企画全体や一部の報告を英語で行うことも可能です。

(2) 国際セッション

海外の研究者を交えて運営される企画をお持ちの方は、「国際セッション希望」と明記してください。このセッションで報告なさる会員外の方の資料印刷・通訳などに対し、研究活動委員会に若干の補助金枠があります。どのような資金援助を希望するか明記してください。予算は限られていますので補助がない場合の運営方法も考えておいてください。

(3) ラウンドテーブル

定まったパターンはなく、比較的少人数で、話題提供者の問題提起を中心に、自由にアイデアを交換しあうことが目的です。話題提供者の方が申し込んでください。

(4) 書評セッション

書評の対象とする著書・論文を決定し、報告者・討論者などを選定して申し込んでください。当日の運営は自主的に行ってください。

5. 企画提案・報告申し込み要領と締切について

(1) 自由報告（口頭報告）およびポスターセッション

- 報告申し込み・要旨原稿提出ともに受付開始は4月24日（金）、締め切りは5月28日（木）です。報告題目に必ず要旨原稿を添えて申し込んでください。
- 連名報告は認められていますが、口頭報告では1報告あたりの発表者は1名です。
- 日本語以外に、英語での報告も受け付けます。
- 要旨原稿は、大会ホームページのテンプレートのフォーマットを順守して、作成してください。日本語と英語で異なります。ご注意ください。
連名報告の場合のみ、口頭発表者の前に○を入れてください。
- 提出先は、大会ホームページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインして申し込んでください。
- ポスターセッションで応募多数の場合、自由報告へ変更をお願いすることがあります。

(2) テーマセッション・国際セッション・ラウンドテーブル・書評セッション

- 企画案の受付開始は4月1日（水）、締め切りは4月24日（金）正午です。申し込みの受付窓口は、「日本家族社会学会ヘルプデスク（jsfs-desk@bunken.co.jp）」です。企画題目と趣旨（800字程度）、オーガナイザー（テーマセッションおよび国際セッションの場合は、司会者、報告者、討論者を含む）を明記してください。
（指定のExcelフォーマットを大会ホームページよりダウンロードして申込内容を記入の上、提出してください。）
- 後日、研究活動委員会から企画案の採択結果をお知らせします。企画が採択されたら、テーマセッションの報告者の方は各自、オーガナイザーと調整の上、要旨原稿を提出してください。国際セッションは、オーガナイザーが責任をもって報告者全員の要旨原稿を提出してください。締め切りはいずれも、5月28日（木）です。
- 提出先は、大会ホームページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインして提出してください。国際セッションのみ、メール添付にて大会ヘルプデスクにお送りください。

6. その他の特記事項

■ 報告者の資格要件

報告は、本学会会員でありかつ定められた会費を納入していることを資格要件とします。現会員の方は、前年度（2019年度）までの未納会費がないよう注意してください。新入会員については、5月7日（木）までに入会手続きを行い、その後会費を納入してください。会費納入期日はいずれも5月19日（火）です。ただし、国際セッションの報告については、会員以外の報告を認めます。

■ 大会当日配布冊子に広告掲載をご希望の方は鳴崎までメールにてお問い合わせください。

7. 今後の予定について

7月中旬には大会ニュース No.2(大会プログラム)を公開します。大会に関する情報は、学会のホームページやメールマガジンで逐次お知らせしますので、ご覧ください。

（研究活動委員長 鳴崎尚子）

8. 大会実行委員会から

大会実行委員会では、みなさまをお迎えすべく、準備を進めています。会場となる東北大学川内南キャンパスは、仙台市中心部から西方向、広瀬川を渡った仙台城跡地の一角にあります。背後の青葉山からの伏流水が流れ出る位置にあり、真夏でも比較的冷涼な場所として知られています。最寄りの「川内」駅までは、JR 仙台駅から仙台市営地下鉄東西線を利用して 10 分程度です。宿泊施設は仙台中心部に多数ありますが、週末は満杯になっていることが多いので、早めに予約をとられることをおすすめします。

第 30 回大会が活発な学術的議論の場となるよう、準備を整えていきます。ぜひ多数のかたにご報告、ご参加いただけると幸いです。

（第 30 回大会実行委員会委員長 田中重人）